

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)										
ET45G006	教育心理学研究法特論(Special Seminar in Methodology of Educational Psychology)					教育心理学										
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
選択	2	1	大学院教育学研究科			氏名 藤田 敦 E-mail a-fujita@oita-u.ac.jp 内線 7614										
授業の概要	教育の現場に生起する様々な事象を科学的に解析し理解するための心理学的な研究手法について学ぶことを目的とする。具体的には、教育現象に関する量的なデータの収集法、統計解析法、レポート作成・発表の技法について理解を深める。															
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	児童生徒の行動や心理的な傾向を理解するための技法を使うことができる。															
目標2	統計法の基礎を理解し、利用することができる。															
目標3																
目標4																
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	教育心理学研究法の概説															
2	記述統計と推測統計															
3	実験データの分析法 - 集計と記述															
4	実験データの分析法 - 仮説の検証															
5	実験データの分析法 - 分散分析について															
6	調査データの分析法 - 質問紙調査法															
7	調査データの分析法 - 質問項目の作成と調査の実施															
8	調査データの分析法 - 相関分析・重回帰分析															
9	調査データの分析法 - 因子分析															
10	調査データの分析法 - ノンパラメトリック検定															
11	実験・調査の実施計画作成															
12	実験・調査結果の分析															
13	研究レポートの構成															
14	プレゼンテーションの技法															
15	実験・調査結果の発表															
ラーニング	A:知識の定着・確認	実際にデータを收拾し、それを分析することを通して、統計的な解析について実践的に学習する。				工夫	その									
	B:意見の表現・交換						他									
	C:応用志向															
	D:知識の活用・創造															
時間外学習の内容と時間の目安	準備	表計算ソフト(エクセル),統計プログラム(js-STAR,R)の使い方について習熟しておく。														
	事後	授業中に次週までの課題を提示する。														
教科書	必要な資料は、講義中に配布する。															
参考書	心理学論文の書き方(河出書房新社)															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	小課題	60%														
	実験・調査レポート	40%														
注意事項																
備考																
リンク	URL															